

地域情報通信基盤整備推進交付金事業における整備計画の事後評価

事業名		地域情報通信基盤整備推進交付金事業			
事業の概要	事業完了日	平成23年 3月31日			
	総事業費	858,900 千円			
	交付金額	286,300 千円			
	整備対象地域	本別市街地南地区、勇足元町地区、仙美里元町地区、東町地区、共栄地区、上本別地区、勇足地区、押帯地区、美蘭別地区、西美里別地区、美里別地区、西仙美里地区、仙美里地区、東本別地区			
事業の内容	<p>本別町におけるブロードバンドサービスは、市街地北地区のみ民間電気通信事業者による光ブロードバンドサービスが提供されていたが、その他の地区は事情者の採算面から拡大されておらず、ブロードバンド未提供地域の住民からブロードバンドサービスの早期提供の要望が出されていた。また、テレビ放送においては、アナログ放送からデジタル放送に移行することにより、新たな難視聴地域がでることも予想されていた。</p> <p>そこで、町がFTTHによる光ファイバ網を整備し、IRU契約により施設を民間電気通信事業者に貸し出すことにより、ブロードバンド未提供地域における情報通信格差を是正したケーブルインターネットサービス及び地上デジタル放送の再送信を提供し、住民要望に添ったサービス展開を図るものである</p>				
BB	サービス開始日	平成23年 6月 1日			
	サービス形態	公設民営(IRU)			
	契約先	株式会社 帯広シティーケーブル			
		整備計画時の目標		実績	
		初年度	最終	平成23年度末	平成27年度末
	整備地域の世帯数	2500	2500	2349	2246
加入世帯数	200	700	312	517	
加入率(%)	8	28	13.3	23.0	
CATV	サービス開始日	平成23年 6月 1日			
	サービス形態	公設民営(IRU)			
	契約先	株式会社 帯広シティーケーブル			
		整備計画時の目標		実績	
		初年度	最終	平成23年度末	平成27年度末
	整備地域の世帯数	60	60	66	65
加入世帯数	60	60	66	65	
加入率(%)	100	100	100	100	
評価及び課題	<p>ブロードバンド未提供地域への情報通信格差の是正を図ることができ、加入世帯数は年々増加しているものの、インターネットに関心の低い高齢者世帯やスマートフォン・タブレット端末の普及により、整備計画において目標としていた加入世帯数、加入率を達成することはできなかった。今後、サービス提供事業者と連携し加入メニューの充実や新たなブロードバンド活用を検討することで、加入率の向上を図ることが課題である。</p> <p>地上デジタル放送難視聴の対応については、地上デジタル放送への完全移行前に難視聴を解消できたことから、当初の目標を達成したと考える。</p>				